

外来担当医表

病院広報誌 冬号 No.32

H26. 1. 1~

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	山田 青山(龍)	市原 田邊	松本 山口	稲田 市原	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長	第1.3院長 第2.4.5岡庭 第4太田
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査		胃カメラ 腹部エコー 山田		胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14:00~16:00	内科	市原	山田	市原	松本	濱中	
	整形外科 外科	院長		岡庭		岡庭	
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 山田・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント PTA	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント PTA		
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1.3.5近藤 第2.4尾関		青山(龍) 小坂		松本 第1.3.5野原 第2.4木村	
	整形外科 外科	院長 岡庭		柿沼		岡庭 太田	
	小児科	木村		成瀬		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師募集中 担当 益田・菊池まで



笑顔

病院広報誌 冬号 No.32
平成26年1月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、血液透析センター
瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118
<http://www.seto-aoyama.jp>
小児科予約 <http://b.inet489.jp/aoyam1118/>



小児科予約用

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

「ありがとう」の魔力 院長 青山 弘彦

「ありがとう」という言葉は、我々日本人は特に意識しなくてもよく使う言葉である。サウ・ダツク・テイ・ン・謝(イ・テイ)・カサハコダ など、どの国の言葉でも「ありがとう」の発音は誰が聴いても心地良い響きである。語源を辿ると、室町時代以前には「神」に対してのみ使われたことばであったという。「ありがた・し」で、成就しにくいこと、あり得ないことが起きたときに使った。端的に言えば、「ご利益があった」「ご縁があった」という神恩感謝の心の言葉であった。「おかげさま」「勿体ない」「頂きます」も「ありがとう」と同じく神に感謝する言葉である。

室町時代以降、人間同士の間でも「ありがとう」という動詞の形で使われるようになった。般若心経に「菩提娑婆訶(ほしそわか)」という言葉があるが、娑婆訶は「事が成就する」の意味であり、その心の中には佛に対する感謝の気持ちが込められた言葉である。

「ありがとう」の本質は「あるがままをすべて受け入れて認める」ということであり、相手に対して最も適切で一言で気持ちを伝える便利な言葉として日常的に使われている。「ありがとう」と言っているだけで脳の波長・雰囲気が変わり、結果的に楽しい状況が展開する。「ありがとう」を言い続けて或る臨界点に達すると、心から感謝の念が湧いてくるという。声を出して、心を含めて言うのが良いが、心を含めなくてもただ「ありがとう」と言い続けるだけでも良い。その臨界点は2万5000回。「ありがとう」と言いたくなるようなことが次々起きてくる。それを越すと、自然に周囲の



全てに対して感謝の気持ちと謙虚な気持ちになって来ると同時に自ずと気持ちが伝わり、周囲の雰囲気も変わってくるのである。まさに「ありがとう」という言葉の持つ魔力である。神と直結する言葉が心の深い部分や細胞のレベルまで行き渡って本物になるようである。

旧約聖書の創世記にも「はじめに言葉ありき。言葉は神なり」という有名な記述があるが、「自分が投げかけた言葉のイボキ」は自らで受け取ることになる」これが宇宙の原理である。

病人が「辛い」「苦しい」と言っている家族や周りの人が「大丈夫、大丈夫、全然心配ない」と言っているとどんどん元気になるのは不思議と云えば不思議である。病人や悩んでいる人のそばにいる友人・家族とは互いに大きく影響し合っている。認知症の人を説得しようと努力することは困難であるが、自分が感謝の気持ちを持って笑顔で接するようにするといつの間にか意思が通ずるようになって来る。

今年は、大いに「ありがとう」を連発して元気で楽しい年にしたいものである。

『ロコモ』ってなあに？

リハビリテーション科

寒い日が続いて、皆さん運動する機会が減っていませんか？そんなときは「ロコモ」に注意です！

「ロコモ（ロコモティブシンドローム）」とは、加齢に伴う筋力の低下や関節や脊椎の病気、骨粗鬆症などにより運動器（骨、関節、筋肉、神経）の機能が衰えて、要介護や寝たきりになってしまったり、そのリスクが高い状態を表す言葉です。また「ロコモ」と特に関係が深い疾患は、高齢者に多い膝、腰、骨の疾患で、例えば変形性膝関節症、変形性腰椎症、骨粗鬆症などがあります。東京大学の調査によると、これらの疾患の推計人口は変形性膝関節症で2530万人、変形性腰椎症は3790万人、骨粗鬆症は1300万人となっています。これらの人数がどれ位多いかというと、高血圧や脂質異常症の推計人口と変わらない位です。内科で「メタボ」の方が多くのように、整形外科では「ロコモ」または「ロコモ予備軍」の方が大勢いるのです。

そんな「ロコモ」予防で大事なことは、足や腰の筋力をつけたりいろいろな運動を習慣的に行うことですが、予防の目標として一番大事なことは「一人で歩けること！」です。こんな事と思う人は多いと思いますが、とても大事なことです。こんな事、当たり前事が出来なくなってくるのが「ロコモ」なのです。今出来ている当たり前なことを今運動することによって自分で守っていきましょう。

当院でもそのお手伝いをさせていただきます。気になる方は整形外科を受診下さい。

ロコチェックで思い当たることはありますか？



ひとつでも当てはまれば、ロコモである心配があります。

日本整形外科学会パンフレットより

医療機器安全管理委員会

医療ガス安全管理委員会

医療機器、医療ガスは医療に不可欠なものであり、安全に使用するために常に管理する必要があります。

医療機器には信頼性（医療機器が本来の目的に適応した診療機能を発揮すること）と安全性（患者様に危険性が及ばないように安全に使用するために必要な状況を作る事）の向上が常に求められています。医療機器安全管理委員会はこれらを達成するために設置され、危険が生じることの無いよう医療機器の保守管理に勤めています。

医療ガスには酸素、亜酸化窒素、医療用圧縮空気があり、主に呼吸療法、麻酔、手術などに用いられています。それぞれ医療に不可欠なものであり、その管理、取り扱いは慎重にされなければなりません。これらのガスを安全に取り扱うためには個々の医療ガスの性質や医療ガス設備を十分に理解していなければなりません。そのため委員会を設けて常に医療ガスの保守管理に勤めています。

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）について

村瀬 江美

自分が突然病気や事故で障害を負ったり、家族が突然入院してしまって「これからどうしたらいいのだろう…」そんな時頼りになるのが医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）です。

社会福祉士とは社会福祉の専門的知識や技術を持って問題解決に向けて援助する専門職であり、主に病院などで相談業務を行う者を医療ソーシャルワーカーといえます。

当院には医療福祉相談室に2名の医療ソーシャルワーカーが在籍しており、

- ・治療や療養生活に関する不安や悩み
 - ・退院後の生活に関する不安や心配
 - ・介護についての不安や心配
 - ・病院にかかる費用や介護にかかる費用、その他の経済的な問題
 - ・介護保険や障害者手帳など医療、福祉に関する公的制度についてなど
- 様々なご相談に応じ、患者様やご家族と一緒に問題解決へと歩めるようお手伝いをしています。

私がこの仕事について10年以上が経ちました。これからも気持ちは若い新人のつもりで、患者様やご家族のその人らしい生活を支援して行けるよう頑張りたいと思います。

病気や怪我などのために抱くことになった不安や問題、困りごとがありましたらぜひご相談ください。